

令和元年第4回定例会一般質問順序表

12月12日～13日

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
1	5	五十嵐美知	1 子育て支援について	1 保育所の年末年始休日の考え方について	1 本年1月に保育所入所児保護者へ実態調査を実施し、3月定例会において、調査結果について答弁があった。調査結果から、年明けの1月4日からの仕事始めが多い状況を踏まえ、今後どのように考えていかれるのか伺う。	
				2 赤平市子育て支援条例について	1 条例の第15条に「あかびら家族の日」を「毎月第3日曜日」と定めているが、その取り組み状況について伺う。	
				3 子育て支援サービスの情報提供方法について	1 当市では子育てガイドブックを作成し、妊娠届出時、市内への転入時（小学生未満のお子さんがある場合）に配布しているが近年、スマートフォンの普及により、通信アプリを活用した配信は極めて便利であり身近に情報を得る手段として有効だと思うが考えを伺う。	
				4 保育料無償化の更なる取り組みについて	1 本年10月より3歳児から5歳児の保育料無償化に伴い、3歳未満児は住民税非課税世帯のみ無償化の対象となったが、現在通所している18名の子の世帯が、無償化対象外となっている。少子化対策施策の観点から、保育料無償化拡大に取り組む考えについて伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	5	五十嵐美知		5 認定子ども園について	<p>1 認定子ども園に特化したプロジェクトチームを立ち上げ取り組んできたが、その後の進捗状況について伺う。</p> <p>2 認定子ども園に対するこれまでの質問に対し、答弁では、赤平市公共施設等総合管理計画との整合性を図るとのことであったが、これまでどのような議論をされてきたのか進捗状況を伺う。</p> <p>3 児童福祉施設整備計画では、開設場所を2案盛り込んでいるが、いつの時点で決定するのか伺う。</p>	
				6 屋内遊戯施設について	<p>1 赤平市児童福祉施設整備計画（平成30年12月）では、屋内遊戯施設の開設時期、開設場所は未定となっているが、公共施設等の複合化や認定子ども園との兼ね合いもあると思うが、未就学児童や小学生の子どもがいる世帯の半数以上が「冬期間や雨天時に屋内で安心して遊べる場所がほしい」と希望している状況を踏まえ、早期に応えていくべきと思うが考えを伺う。</p>	
				7 病児・病後児保育について	<p>1 これまでも質問してきた子育て世代の課題である病児・病後児の保育は、仕事を持つ保護者にとって、子どもが病気の際、仕事との両立は生活に関わる重要な問題であり、保護者より望む声がある中で、行政としてしっかり応えるべきと思うが考えを伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	5	五十嵐美知	2 地域の福祉について	1 認知症サポーターについて	1 厚生労働省は今年度から「認知症サポーター活動促進事業」として、当事者の支援ニーズにサポーター等をつなげる仕組み「チームオレンジ」の構築をめざすとされているが、これには認知症サポーターやキャラバンメイトの意識向上を図る、ステップアップ研修等の実施や拠点整備等が必要となるが、取り組み状況を伺う。	
			3 防災・減災について	1 防災行政無線について	1 これまでも防災行政無線は、災害時、地域住民と行政をより身近になるよう設置してはどうかと質問してきたが、その後の進捗状況について伺う。	
				2 地区防災計画について	1 地区防災計画とは災害時の避難方法など自ら立案する計画だが、災害発生時において「自助」「共助」による取り組みが大事とされている。昨今の自然災害は尋常ではない大規模災害となっており、その視点に立てば空知川と共にある当市として、地区防災計画策定は急務と思うが考えを伺う。	
			4 SDGs（持続可能な開発目標）について	1 住み続けられるまちづくりの取り組みについて	1 国連サミットで採択された「誰一人として取り残さない」社会をめざし、2030年までに達成すべき17項目は、住み続けられるまちづくりにも寄与すると思うが、取り組む考えについて伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	5	五十嵐美知			2 環境問題の大きな課題である「食品ロス」は、食品ロス削減推進法施行に伴い、一部の地方自治体で取り組みの一環として「閉会後の30分間、閉会前の10分間は、席を立たずに自席で飲食」（3010運動）を実施しているが、当市における今後の取り組みについて伺う。	
			5 学校教育について	1 新学習指導要領について	1 2020年度から改訂される新学習指導要領については、小学校から順に実施されるが、児童生徒に求められる資質・能力と生きる力をめざすとされているが、その取り組み状況と現状や課題などを含め伺う。	
2	9	東成一	1 防災について	1 河川の洪水対策について	1 豪雨により河川の水位が上昇した場合の減災対策という観点から、市が管理する河川において、川底の改修工事の現在の進捗状況と今後の工事の進め方について伺う。	
				2 高齢者の避難について	1 当市では多くの1人暮らしの高齢者の方が居住されているが、豪雨により河川の氾濫や堤防の決壊等による高齢者の避難のあり方について伺う。	
			2 有害鳥獣について	1 駆除対策等について	1 市街地等において、ヒグマが出没した場合を想定し、住民に注意喚起を促す処置など、その行動が速やかに行える体制マニュアルはあるのか。また、近年のヒグマの駆除に対する取り組みを伺う。	

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
2	9	東 成 一			<p>2 当市における現在のエゾシカの捕獲に対する取り組みと今後どのような対応をとっていくのか伺う。</p> <p>3 当市におけるアライグマの生息数を把握するのは困難であるが、生息数を減らすには、捕獲計画を立てて、これまでより多く捕獲できるような対策が必要と思うが、考えを伺う。</p>	
			3 高齢者対策について	1 高齢者の運転免許証の返納について	1 これまでの一般質問に対する答弁では、助成について検討するとの答弁だったが、これまでの検討状況と考えを伺う。	
			4 市民アンケートの結果について	1 子育て支援について	1 先の市民アンケート結果で子育て支援が重要度10位となった。子育て支援は、人口減少対策や定住促進の観点からも重点的に支援が必要と考えるが、現状の認識と今後の対策について伺う。	
3	3	木村 恵	1 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1 まち・ひと・しごと創生基本方針2019について	1 第2期の枠組及び新たな視点はどのようなもので、国の財政支援はどのようになっているか。また、その受け止めと市長の次期総合戦略に対する考え方はどうか伺う。	
				2 赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の総括について	1 今年度の効果検証は行われたのか。最終的なK P Iの達成度と基本目標の到達点はどのようになるのか。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
3	3	木村 恵			<p>2 基本目標①について、市内企業との連携を強め、働く人が市内に住んでもらえ、市外に出ていかない施策を強化すること、農業分野においては新規就農を促進するなど後継者不足の解消と、6次産業化を一体的に進めていく必要があると思う。ここについて考えを伺う。</p> <p>3 基本目標②について、かなり進んだと思うが、学力向上及び児童福祉施設等が課題となると思う。子ども子育て支援計画と合わせてハード面にとられることなく質の向上、安全安心面の向上をしていくことが大切ではないか。考えを伺う。</p> <p>4 基本目標③について、重点施策については、大幅な方針転換が必要になると思う。一方で医療と介護の連携、元気な高齢者の方々の社会参加と介護予防、見守りなどを一体化した地域包括ケアシステムの確立など進んだ施策をさらに拡充していくことを強化し、高齢でも安心して暮らせる環境を整えるべきではないか。考えを伺う。</p> <p>5 基本目標④について、施策のほとんどが移設整備あるいは公園整備となっている。財政的に将来を不安視する声も多いことから今あるものを活かした施策に転換すべきではないか。特に炭鉱遺産公園整備については現状を活かした事業に絞り、これ以上の開発を断念することを求めたい。考えを伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
3	3	木村 恵	2 地域医療について	1 あかびら市立病院について	<p>1 医療は地域にとって欠くことのできない社会基盤。公立病院の再編統合に対して公立病院としてどのように地域医療を守っていくのか。</p> <p>2 深夜救急搬送時、ハイヤーが動く朝まで休んでもらうことができるという対応は評価される。どうしても帰らなければいけない方に対して、病院としてできることは、こういったことがあげられるか。</p>	
			3 子育て支援について	1 第2期子ども子育て支援計画について	<p>1 今年度は現計画の最終年度となり、見直し作業に入っていると思う。進捗状況はどうなっているか。またパブリックコメントなど今後のスケジュールはどうなっているか。</p> <p>2 現計画について、概ね計画に沿ってすすめられ、拡充されたところも随所あると思う。一方、幼保の一体化の推進については結局全くすすまなかった。児童福祉施設整備計画は策定されたが、認定こども園については2案が併記された状態で今年度中に協議されることとなったままであるが、この状況で、来年度に基本設計に取りかかるのか伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
3	3	木村 恵			3 これからの課題として子どもの貧困問題があると思う。国連ではSDGs, 国政でも大きく取り上げられているように, だれ一人取り残さないというのは掛け声に終わらず, きめ細かに行われなければいけないと思う。次期計画においてはこのことが明記され, 基本目標ごとに関連するところの拡充をすべきと思う。これについての考えを伺う。	
			4 消費税増税に伴う影響等について	1 プレミアム付き商品券について	1 申請受付が今月12月30日までとなっている。現在の申請件数及び対象者に対する申請率はどうなっているか。8月と10月に広報あかびらで周知しているが, 申請数に変化はあったのか伺う。	
				2 キャッシュレス決済について	1 市内でキャッシュレス決済可能な事業者は何件あるのか。そのすべての事業者がポイント還元に該当するのか。また, 今回の増税に伴いキャッシュレス決済を導入した市内企業・事業者は, その中にいるのか伺う。	
				3 マイナンバーカードのポイント還元について	1 政府は2020年9月から21年3月までの期間限定でマイナンバーカードを持つ人がキャッシュレス決済した際に25%のポイント還元をする方針を固めた。赤平市のマイナンバーカード発行数はどうなっているか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考	
4	2	安藤 繁	1 ふるさと納税について	1 ふるさと納税に係るインターネットサイトについて	1 ふるさと納税に係るインターネットサイトの活用の現状と今後の活用方針について伺う。		
				2 ふるさと納税に係る協力依頼について	1 ふるさと納税のPRについて、市民や市内各種団体への協力依頼を展開してはどうか、考え方を伺う。		
				3 ふるさと納税の返礼品について	1 当市の中で開発された特色を活かした赤平ブランドの返礼品としての活用について伺う。		
			2 市道の整備について	1 地域幹線道路の改良舗装について	1 市道の現状を確認するとともに、今後の市全体の整備計画をどのように考えているのか伺う。		
				3 株式会社赤平振興公社について	1 役員体制について	1 公社役員に民間企業等経験者の登用についての考えを伺う。	
					2 エルム高原施設の運営について	1 エルム高原施設の現状と今後の取り組みについて伺う。 2 エルム高原温泉ゆったり、ケビン村虹の山荘が、オープン後20数年経過しており、老朽化が進んできている。今後、大規模改修工事を含めた考えについて伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
5	7	御家瀬 遵	1 市長公約について	1 市長公約における報酬の引き下げについて	1 赤平市特別職報酬等審議会の答申を受けて報酬削減を行ったが、市長の公約で述べられたどおりのもとなったのか伺う。	
			2 公共施設の今後の活用について	1 3小学校統合後の課題について	1 第6次赤平市総合計画の中で、茂尻、赤間、豊里小学校3校の統合後の跡地及び校舎等の活用をどのように考えていくのか、考えを伺う。	
6	6	北市 勲	1 市政運営について	1 住民懇談会について	1 先に実施したアンケートや住民懇談会では、市政に対して多くの意見、質問、要望等があり、特に商業振興、医療問題、地域公共交通問題等をどのように理解し、受け止められたか市長の考えを伺う。	
				2 第6次赤平市総合計画について	1 良く出来た計画ですが、具体的な計画が見えない中で、10年後の推定人口で計画がどの程度達成できるのか不明であり、具体的なタイムスケジュールを作るべきではないか。また、計画実施の優先順位をどのように考えているのか伺う。	
				3 市民との約束について	1 本年の選挙で市民に約束された項目のうち、次の3点について、今後の具体的な取り組み内容と考え方について伺う。 (1) 暮らしに身近な政策を優先 (2) まちづくりに「女性の力」を (3) 市長（特別職）の報酬削減	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
6	6	北市 勲	2 教育方針について	1 学校教育について	<p>1 学力向上について、当市の小中学校児童生徒の学力は、全体的に全国平均より下回っているが、学力の向上策として具体的にどのように考えるか伺う。</p> <p>2 通学問題として、小学校1校となった時の通学における交通手段について、どのように考えているか伺う。</p>	
				2 社会教育について	<p>1 郷土文化育成事業として、住吉獅子舞保存会・赤平火太鼓保存会の伝承活動についての考えを伺う。</p> <p>2 炭鉱遺産保存の観点で、北海道の産業遺産としての立坑やぐらを中心とした炭鉱遺産の保存活用についての考えを伺う。</p>	
7	1	竹村 恵一	1 新たな総合計画作成に伴う市長の考え方について	1 公共施設等総合管理計画との整合性について	<p>1 2016年（平成28年）に策定したこの計画は、2020年で中間期を迎える。必要に応じ見直しを行うと記載されているが、上位計画である総合計画が新しくなる時期で、計画当初から人口や高齢者割合が変化してきている時、この計画をどのように進めていくのか考えを伺う。</p>	
				2 新たな町づくりの進むべき方向性への考え方について	<p>1 秋の住民懇談会、市民アンケートを終え市長の言う市民の声に耳を傾ける、市民に開かれた市政の方向性は、見えたと思います。総合計画に出す具体的な施策の優先順位はどのように考えるか伺う。</p>	

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
7	1	竹村 恵一			<p>2 赤平に住んでもらえる方を増やす施策をどのように考えるか伺う。</p> <p>3 高齢化が進む、わが町の行政サービスのあり方について、庁舎へ訪れる方々も同じく、高齢者の方や誰かについて来てもらう方が増える状況が考えられますが、1ヶ所で対応してもらえる、ワンストップ窓口が親切な対応ではないかと思うが考えを伺う。</p>	
			2 国の閣議決定された就職氷河期世代支援プログラムに対する当市の考え方について	1 集中支援期間中における当市の対応について	1 本年6月に閣議決定された骨太方針2019において、政府挙げての本格的支援プログラムである就職氷河期世代支援プログラムは、現在30代半ばから40代半ばの雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代と言われ、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している方への3年間の集中支援です。当市はどのような対応を考えるか伺う。	
			3 個性と魅力あるまちづくりについて	1 日本遺産認定後の今後の考え方について	1 炭鉄港推進協議会の構成自治体の1つとして、また、現在会長を担っている自治体の長としての方向性と考え方について伺う。	
			4 教育行政について	1 学校教育のあり方について	<p>1 当市の学校教育をどのように捉え、施策へ取り組むか伺う。</p> <p>2 小中1校となる今後と、幼児教育との関係性をどのように考えているのか伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
7	1	竹村 恵一		2 学校教育と社会教育の関係性について	1 前教育長が方向付けをしたコミュニティスクールについての認識と教育長の考え方について伺う。	
8	8	伊藤 新一	1 公共交通について	1 地域住民の移動手段の確保について	1 当市において高齢者比率が高い中で、バス停留所、駅までの移動距離が長く、移動が困難な方々の交通手段の確保について、9月の第3回定例会においての質問に対し、公共交通に関しての視察に行くとの答弁であったが、視察を終えて、その後の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。 2 日曜日から木曜日までの午前2時から午前7時、金曜日と土曜日の午前3時から午前7時までの間は、タクシー会社が営業していない。急病であっても救急車を呼ぶまでもない時や、夜間診療受診後、帰宅するにも帰宅できない等、交通手段の空白時間帯がある。市民から何とかしてほしい旨の意見があった。この問題についての対応を伺う。	
			2 雪対策について	1 除排雪について	1 先の市民アンケートで、雪対策が重要度で2位となった。この結果からも除雪対策が住民にとって重要な課題である。現状の課題認識と今後の対策について伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
8	8	伊藤新一	3 登下校時の通学路における安全対策について	1 不審者対策について	1 今年も不審者による痛ましい事件が全国的に多数発生しており、当市においても、声かけ事案が発生している。子ども達の安全確保、地域の防犯という観点からも日頃からの対策が必要と思うが、現在の取り組みと今後について伺う。	
9	4	鈴木明広	1 赤平市公共施設等総合管理計画について	1 公共施設の削減の進捗状況について	1 平成28年4月策定の赤平市公共施設等総合管理計画の基本方針によると、2015年公共建築物の総量（延床面積）70万8千㎡を2025年に20%削減するとしているが、現在までの計画の進捗度について伺う。	
				2 公共住宅解体について	1 当市において1970年度以前に建てられた建造物は、来年度に建築後50年となり、耐用年数を迎える。当該建物のそのほとんどが住宅施設であり、おそらく長寿命化対策をする建物はほとんどないので、解体撤去をする必要があると思われる。その費用は多額となるが、計画を遂行するためには、どのように費用の捻出をするか伺う。	
			2 生活支援の地域公共交通について	1 当市の生活支援の公共交通計画について	1 交通空白地域に居住する移動困難者にとっては、買い物、通院等の目的のための移動手段の確保は、喫緊の課題であるが、都市科学の専門家や教授実証に基づく論文や報告を研究すると、「失敗例」が数多くある。当市における生活支援の公共交通の計画について伺う。	

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
9	4	鈴木明広	3 臨時財政対策債について	1 今後の臨時財政対策債の起債のあり方について	1 臨時財政対策債における国からの理論元利償還値と実際の元利償還金の交付税算入額、及び当市における償還実績を検証した結果、現時点では安堵できる結果である。しかし、交付税の不足分を地方自治体に起債させて、国が元利償還分を分割後払いする方法で、結局は借金を借金で返済するので、将来世代への負担が重くなる。今後の当市の臨時財政対策債の起債のあり方を伺う。	
			4 あかびら市立病院の経営について	1 累積欠損金について	1 平成30年度の累積欠損金は、約16億1,705万円であるが、現金のやりとりが発生しない金額を除いた、約11億6,817万円については、現金発生分であると考え。累積欠損金の現金発生分は処分が必要となると思うが伺う。	
				2 流動資産について	1 平成23年に不良債務比率を健全化した後は、流動負債が約9,000万～6億3,000万で推移している中で、流動資産（預貯金）が平成23年度から右肩上がり膨れ上がり、平成30年度には13億6,000万円（流動比率2.15倍）となっている。余分な流動資産は一般会計に返還すべきであると思うが見解を伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
9	4	鈴木明広		3 繰入金について	1 平成30年度は総務省の繰入基準額6億9,453万円に対して、実繰入額8億2,821万円(119%)、基準外繰入額1億3,368万円となっている。一般会計と企業会計は連結ベースで考えるべきであり、病院は基準内繰入金で経営をするべきであると思うが考えを伺う。	
				4 時間外診療について	1 平成30年度における一般会計繰出基準算定を用いた救急医療に係る経費を見ると、救急に係る経費は、合計2億1,431万4千円になる。病院経営診療収入は2,346万5千円と、収益率は10.9%とかなり低く、不採算部門である。社会保障費縮減に対応するために、平日の時間外診療は休診して土日だけにすべきと思うが、考えを伺う。	
				5 病院の将来像について	1 全国の病院統廃合は、国策として推進していると感じる。政府の医療報酬抑制政策の中では、地方自治体病院死守を唱えたとしても、財源確保の目途がつかないのなら、やがて地域病院の共倒れや淘汰は避けられないと思う。診療所化も含めて今後の病院のあり方を伺う。	

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
9	4	鈴木明広	5 公立学校への1年単位の变形労働時間制の導入について	1 当市の導入の見通しについて	1 再来年度から導入される公算が高い、公立学校の教員の1年単位变形労働時間制は現場教員の実感として、業務を増やす可能性が大きい。大多数の教員はこれを望んでいないと考える。教員の魅力を向上するものにならないばかりか、子どもの成績向上にはつながらないと思う。当市の導入に対する見解を伺う。	
			6 統合小学校新築について	1 過疎対策事業債の償還期間について	1 過疎対策事業債対象事業の中で、義務教育学校の整備にかかる償還期間が12年間に延長できる特例があるが、償還金の平準化が人口減の影響下においては実質的な将来世代への負担が重くなる。また、アベノミクス崩壊後の金利上昇のリスクは高いと予測されるので、10年後に金利の見直しで金利が上昇した場合、歳出増を避けるためにも、3年据え置き12年償還を選択すべきであると思うが、見解を伺う。	